

計画の名称	備後圏域連携中枢都市圏における広域的な産業物流活性化計画												
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	岡山県												
計画の目標	備後圏域連携中枢都市圏は、中国地方全体の経済成長を牽引し、住民が安心して豊かな暮らしを営むことを目的に、平成27年に連携協定を締結し、福山市を連携中枢都市とした6市2町から形成される都市圏である。本都市圏は、広島空港のほか重点港湾の福山港や重要港湾の尾道系崎港等の国際物流拠点を有し、圏域の大部分が備後地区工業特別整備地域にも指定されていたことから、鉄鋼や造船など重工業、繊維業や木工業が成長し、瀬戸内海地域における中核的な工業拠点として発展してきた。それに伴い、農業・工業技術系の試験研究機関を始め、大学研究機関など、幅広い分野における産業支援拠点が確立された。加えて、平成26年度の中国横断自動車道尾道松江線の全線開通により、山陽自動車道や西瀬戸自動車道とつながる高速道路ネットワークが形成されたことや、更に高速道路網を補完する地域高規格道路の整備が、現在、国において進められており、国道2号玉島・笠岡道路及び笠岡バイパスが完成すれば、笠岡東IC（仮称）や笠岡西IC（仮称）の利用により、この地域の経済を牽引する産業拠点へのアクセスが大幅に改善されることから、圏域の経済活動は今後も更なる発展が期待される。これら圏域の強みを活かしながら、年間粗鋼生産量が全国第1位を誇る鉄鋼業や欧米市場から高い評価を受けている繊維事業等、世界有数の工業製品に関する広域的な事業活動を支援するために、広域的な物流結節点と産業集積地及び産業集積地相互のアクセス性を高め物流の効率化に資する基盤整備を推進することで、産業活動の競争力を向上させる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,620	A	1,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を32,600億円以上とする。 【広島県・岡山県 共通目標】製造品出荷額等 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を現状維持以上とする。（工業統計調査ベース）	32600億円	32600億円	32600億円
2	【岡山県】備後圏域連携中枢都市圏（岡山県内）における製造業従事者数を10,658人以上とする。 【岡山県】製造業従事者数 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏（岡山県内）における製造業従事者数を現状以上とする。（工業統計調査ベース）	10658人	10658人	10658人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	○
その他事項については、備考-1に記載。								

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 山口押撫線（篠坂 工区）	現道拡幅 L=1,890m	笠岡市	■	■	■	■	■	560	—	
	A11-002	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 山口押撫線（入田 工区）	現道拡幅 L=220m	笠岡市	■	■	■	■	■	120	—	
	A11-003	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 園井里庄線	バイパス L=1,000m	笠岡市	■	■	■	■	■	650	—	
	A11-004	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 大島中新庄線（1工 区）	バイパス L=250m	笠岡市		■	■	■		80	—	
	A11-005	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 大島中新庄線（2工 区）	バイパス L=400m	笠岡市				■	■	80	—	
	A11-006	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 大島中新庄線（3工 区）	現道拡幅 L=290m	笠岡市	■	■	■			40	—	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	H32	H33				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-007	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 芳井油木線	現道拡幅 L=130m	井原市	■	■				90		—	
	A11-008	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 笠岡美星線（A工区 ）	現道拡幅 L=280m	井原市	■	■				0		—	
	A11-009	道路	一般	岡山県	直接	岡山県	都道府 県道	改築	(一) 笠岡美星線（B工区 ）	現道拡幅 L=520m	井原市	■	■				0		—	
												小計						1,620		
												合計						1,620		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 備後圏域連携中枢都市圏における広域的な産業物流活性化計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R2	R3
配分額 (a)	36	62	86	20	11
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	36	62	86	20	11
前年度からの繰越額 (d)	0	8	39	61	8
支払済額 (e)	28	31	64	73	15
翌年度繰越額 (f)	8	39	61	8	4
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率(i = (g+h)/(c+d))	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合 その理由					



計画の名称	備後圏域連携中枢都市圏における広域的な産業物流活性化計画	交付対象	広島県（岡山県と連携）
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）		

